

南足柄市塚原の「ゆーとぴあ農園」に咲くヒマワリ(23日午前撮影)



夏を前に大輪のヒマワリ 南足柄・ゆーとぴあ農園で

南足柄市塚原の「ゆーとぴあ農園」で大輪のヒマワリが咲き、訪れる人々を喜ばせている。大人の顔の大きさを超える花も見られ、鮮やかな黄色がひと足早く夏を告げている。

同農園は、農業の担い手育成などを旨とする「TOMATOファーム(古屋富雄代表)」と、花を使った地域おこしに取り組む「あしがらユートピア」が管理している。

ヒマワリ畑は広さ約1500平方メートル。昨年までは梅林だったが、開墾して畑にした。数は約5000株。3月下旬に種をまき、

今月初めに開花。梅雨の期間中とは思えないような晴れが続いた事情もあり、ぐんぐん成長。今月中旬には満開となった。アメリカ産の品種という。

葉の高さは平均2メートルほど。花の直径は平均25センチ30センチ。それぞれの株に大輪の花が咲いている。中には、3メートル近い高さの株もある。すでにピークは過ぎていくものの、まだ観賞できる。

訪れた人々からは、「とてもきれい」「スペインとか外国の風景のように見える」といった声が聞かれ、記念撮影をしていく姿も多い。今後の天候にもよるが、今週末までは十分見られそう。

花の時期が終わった後は畑全体をトラクタでならし、秋にはトウモロコシを作付けする。

「初めてヒマワリを植えてみたが、この時期には景観で人を呼べるし、花も売ることができる」と古屋さん。切り花も販売し、人気を集めた。

また、同敷地内での地場農産物の販売も農園では毎週火曜日に季節の野菜や果物、花などを格安で販売し、地域住民らの人気を集めている。

同所へは伊豆箱根鉄道大雄山線塚原駅から徒歩約15分。

